

B チャレ（提案公募型協働事業）【令和3年度】報告書

電話番号、E-mail は報告書問合せ用で非公開です。

提出日	令和4年 2月 28日	記入者	武市 和彦
団体名	ぶんぶく屋上養蜂部 <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他()		
事業名	ぶんぶく屋上養蜂部		
協働団体	<ul style="list-style-type: none"> ・SFB（ストップザフレイル文京※）、高齢福祉課 ※文京区と東京大学高齢社会総合研究機構が連携して実施するフレイル予防事業のサポーター養成講座を受けたボランティアグループ ・株式会社松下産業 ・サンクチュアリ出版 ・町会・自治会 ・NPO 法人エナジー本舗 ・区内社会福祉法人・民間企業 ・区外養蜂専門家 ・個人ボランティア・事業賛同者 		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	【ぶんぶく屋上養蜂部（自団体）】総務・会計事業計画の立案、各種申請業務、人員配置調整、事業計画立案&進捗管理、広報、イベント企画協力 【SFB（ストップザフレイル文京）、高齢福祉課】活動班参画、ボランティア募集 【株式会社松下産業】巣箱設置場所の提供、巣箱環境整備への協力依頼 【サンクチュアリ出版】広報・イベントへの協力 【町会・自治会】認知・広報協力 【NPO 法人エナジー本舗】焼き菓子制作に関わるコラボ 【区内社会福祉法人・民間企業】商品企画相談予定、企業協賛 【区外養蜂専門家】技術・安全指導、地域連携相談 【個人ボランティア・事業賛同者】養蜂作業への参加・事業活動賛同者		
担当者名	武市 和彦	役職等	事務局
電話番号	090-5272-5556	E-mail	ktakeichi0725@yahoo.co.jp
部門 (1か2 いずれか ○)	1 課題解決部門(該当の場合、いずれかの番号に○) (1) 幅広い年代を対象に性の多様性への理解を促す活動 (2) 地域コミュニティの継続的な運営を IT 等でサポートする活動 (3) ひきこもり当事者の中間的就労の場を拡大するための活動 (4) 男性の高齢者の継続的な参加につながる地域活動 (5) オーラルフレイル予防に気軽に主体的に取り組める地域の仕組みづくりを行う活動 (6) 中学校卒業後の不登校等の孤立状態に対応できるボランティアを育成するための活動		

	<p>(7) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (8) その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み</p> <p>2 地域活性化部門</p>
<p>目的 地域のどんな課題を解決したいかを明記 提案時と再掲でも可</p>	<p>文京区では高齢者人口は、年々増加傾向にあり、2020年には43,662人、2030年には48,536人と予測されている。(文京区人口推計、文京区高齢者人口推計)国の調査(高齢者白書2020年)では、65歳以上の一人暮らしの方は男女ともに増加傾向にあり、中でも高齢男性の高齢単独世帯全体の比率は2015年32.5%から2040年39.7%に増加すると推測されている。(令和2年厚生労働省白書)65歳以上の人の近所の人とのつきあいの程度を世帯タイプ別に見ると、男性単身世帯においては、「あいさつをする程度」が半数以上であり、「つきあいはほとんどない」と回答する割合も他より高く、社会参加の機会が少なく、我々は、それらがフレイルの一因とされている課題を感じてきた。</p> <p>このような地域の状況を踏まえて、今回のPJでは、男性高齢者が参加したくなる活動の切り口として、「事業型」且つ「試行錯誤ができる」という特徴を持つ活動で男性高齢者も参加しやすい活動づくりを追求する。そして、その活動をすすめるために、子どもから高齢者までが参加できる機会を設け、地域ぐるみで事業に取り組み、地域コミュニケーションを強める中で地域づくり、フレイル予防を前進させる。その結果として、男性高齢者の地域コミュニティへの参加の一助になればと考えている。</p>
<p>事業内容</p>	<p>令和3年度実施した事業内容は</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 養蜂作業 団体のコアメンバーが養蜂作業の習得を目標に作業を実施。特に難しいとされる秋～冬～来春までの作業をコアメンバー全員が指導者の指導の下、作業マニュアルを作成。 ② 採蜜作業 令和3年度は計4回の採蜜作業で、採蜜量27.7kg。 ③ 団体の目的、事業目標を明記した規約を作成。 ④ 内見作業体験見学会を14回実施。30名が参加。その中で養蜂作業希望者10名。見学会の分担表、スケジュール表をコアメンバーで策定。会の事業目的の紹介、養蜂作業の内容と注意点を事前にPPTを使って参加者に紹介している。 ⑤ 会の活動を内見作業日ごとにFacebookにアップ。会活動紹介のための活動紹介パンフレットも作成。3月区主催「介護予防展」で事業説明を行い70名が来場。 ⑥ コアメンバー会議を月一回定期的に開催、事務局会議も四半期に一回ずつ開催。 ⑦ 内見作業等にボランティア参加していた男性高齢者1名が会の活動目標に賛同、コアメンバーに加入。コアメンバー6名となった。 ⑧ 養蜂場所をお借りしている松下産業さんとの懇談会を開催、NPO法人との採蜜を利用した商品開発を実施。養蜂場所のビル屋上の緑化計画の話し合い、「マドレーヌ」「蜜蠟キャンドル」の試作品を作成。 ⑨ 都内で同様に養蜂を行っている台東区(鶯谷)、足立区の団体と交流。

<p>協働団体 or 利用者 の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コアメンバー参加の方からは、「最初養蜂に興味があり参加したが、事業の目的に賛同。今後住んでいる地域の公園の緑化にも取り組んでいきたい」との要望が出された。 ●SFB 参加者への事業進捗報告を行う中で、「事業に興味がある」との声も出ている。 ●松下産業の企業連絡会で発表していただいた。「蜂蜜を販促のツールで使いたい」「ファミリーデーの企画として取り入れたい」等要望が出されている。連絡会では「屋上養蜂を検討したい」。 ●マドレーヌ試作をお願いしたエナジーハウスからは、「蜂蜜がすごく良質でしっとり感が出てすごく美味しい」等の声を頂いている。 ●見学会参加者からは、「地域の緑化活動もいっしょにしたい」、「月に一回くらいなら参加できる」との声も寄せられている。
<p>協働による 効果</p>	<p>協働団体との関係強化により、「ぶんぶく屋上養蜂部」の活動内容、目的の認知が協働団体とその周りの区民の中に確実に広がってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松下産業では、当初社内での養蜂に対して心配する声があったが、社員への社内広報、作業場所での注意事項の徹底、社員参加の見学会の実施などを計画。社屋のある地域の町内会への挨拶も対応していただいている。今後、社内行事への養蜂の取り入れ、巣箱のデザイン、屋上緑化などに取り組んで行く予定。 ●エナジーハウスと協力し、蜂蜜を使った「マドレーヌ」の試作品が完成。次年度販売への目処が立った。 ●高齢福祉課からの紹介で、和敬塾でのシニア座談会、フォローアップ研修会にも参加し、ぶんぶく屋上養蜂部の活動紹介を行った。その中で次年度の養蜂場提供を依頼した。 <p>このように、協働団体の中では協働をすすめるための具体的な活動が検討され、実施されようとしている団体も増加している。フレイル事業の地域展開の中で、町内会や自治会への「ぶんぶく屋上養蜂部」の活動周知が広がっていると考える。</p>
<p>事業成果 および 今後の活 動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度、男性高齢者1名が「ぶんぶく屋上養蜂部」のコアメンバーに加入。養蜂への興味からまずは養蜂作業と一緒にいたり、会の目的などをコアメンバーと話し合う中で、ぶんぶくの活動に共感していただいた結果だと考える。内見作業に参加された方の中にもより本格的に養蜂作業に参加したいという方は10名程度いらっしゃった。今後、内見作業に参加していただき、会の活動目的について知っていただく中でコアメンバーは増えてくると確信している。 ●Facebook、LINE、メールでつながっている方が延べ140名いる。この中からも活動参加の方が増えると考え。また、文京区の高齢者を対象としたイベントの参加者に対して、活動の紹介先となれるように活動を充実させる。 ●今後の活動の重点課題としては、 <ol style="list-style-type: none"> ①見学会、セミナー等会の企画への参加者の中から会コアメンバーになっていただく方を10名増やす。 ②賛同金、見学会参加費を決め収益を得る。 ③松下産業屋上で養蜂2群の養蜂作業をすすめ、採蜜量を増やす。 ④松下産業屋上での日除けテントの設置と防風テントの設置を行う。松下産業屋上緑化も計画し実施する。 ⑤活動参加の幅を広げるために、屋上緑化、公園緑化にチャレンジします。令和5年度設立を目標に事業をすすめるため、法人格の取得をめざし会での勉強会を立ち上げ検討を開始する。

※別紙1：事業スケジュール 報告

※別紙2：収支決算報告

- ※別紙 3 : 関係者マップ 報告 (提案時の内容と比較できる状態)
- ※追加別添 1 : この事業を通じて制作したチラシなどのデータ
- ※追加別添 2 : この事業の様子が分かる写真のデータ (10 枚以内)

【提出先 E-mail】 fumikomu@bunsyakyō.or.jp

問合せ先 : Tel : 03-3812-3044 (担当 : 田邊、山ノ内)

別紙1:事業スケジュール 報告

作成日: 令和 4年 2月28 日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和3年度】

団体名: ぶんぶく屋上養蜂部

実施内容	令和3年					令和4年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ファミコムとの打合せ	●14:4名参加		●30:企業地域連携推進ネットワーク会議で事業説明							●12:今年度振り返り	●16:企業地域連携推進ネットワーク会議で事業説明	
①養蜂作業	●2:養蜂箱設置 <small>内見作業 1/M 実施</small>							内見作業 2/M	内見作業 1/M	作業マニュアル作成		内見作業 2/M
②採蜜作業			●4、28:採蜜会(15名参加)	●30:採蜜会		●27:採蜜会(3名見学)						
④見学会実施 参加人数	●16:4名参加		●11、18、25:7名参加	●30:6名参加	●6、20、27:8名参加	●6、10、17、24:3名参加						
⑤広報 FACEBOOK等で発信	内見作業毎にFACEBOOK更新(平均65名が閲覧) LINE、メールでの見学会等の案内を発信 ニュース定期発行											
⑤広報 ぶんぶく屋上養蜂部パンフ作成等			●見学会用PPT作成		チラシ作成、広報開始	●見学会分担当表作成		パンフレット企画 作成 2月末完成				
⑤広報 イベント等での周知活動								●和敬塾	介護手帳贈 バスター、展	●都社協研修	●ボランティア フォローアップ研	●4:介護予防展
⑥ぶんぶく定例会		ロアメンバー会議毎月1回開催	事務局会議(事務局、指導者、社協担当者)は不定期に開催				ぶんぶく屋上養蜂部会則決定	毎期定期的に開催				
⑦新しいメンバーの加入							男性栗本さんコアメンバーに加入					
⑧松下産業打ち合わせ (活動共有、蜜提供、屋上整備、イベント協力)			●			●				●	●	●
⑧商品化相談								エナジー本舗打ち合わせ		マドレーヌ試作品	介護予防展で配布	
⑨見学、情報交換(足立、台東(鶯谷)、つゆくさ荘)				●	● ●	●						

別紙2: 収支決算報告

作成日: 令和4年 2月3日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和3年度】

団体名: ぶんぶく屋上養蜂部

収入 1,051,685 円 ←下記を入力すると合計値が出る計算式が入っています。

費目	予算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	1,000,000 円	地域活性化部門/課題解決部門【いずれか残す】
売上	51,685 円	見学、蜜売上、利子
	円	

支出 1,051,685 円 ←下記を入力すると合計値が出る計算式が入っています。

費目	予算額	積算根拠
講師料	300,000 円	10,000円×30回(作業、運営会議、会社対応) ※講師:(株)オルト都市開発研究所岡田信行氏
研修費	71,100 円	書籍・DVD購入、見学謝礼、見学時交通費、商品開発
広報・印刷費	94,160 円	チラシデザイン、印刷、送料×1回
蜜蝋物品購入費	27,528 円	既成蜜蝋、蜜蝋資材、蜜蝋作業器具購入(イベント関連として申請していたもの含む)
養蜂物品購入費	254,684 円	巣箱、作業用品の購入、見学者用防護服
採蜜物品購入費	153,304 円	採蜜機材、蜜瓶、ラベル購入
事務経費	150,909 円	送料15,660円、文書通信、交通費102,536円、グッズ制作32,713円

